

工業つ子

No. 110
発行日—
2015. 02. 18
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

生徒会始動!

「マナー」の改善目指します

十二月十七日に行われた生徒会選挙。一部、信任投票もありました。会長、副会長は複数での選挙に早速、新生徒会のメンバーにインタビュです!

●新生徒会員

柏原広紀君に聞く!

Q 厳しい戦いだっただけど皆のおかげで就任出来たので嬉しかった。

Q 最も力を入れた取組

Q 今の工業高校で変えたいところは、

Q 全体的にマナーを改善していきたい。

▶一致団結頑張ります! 生徒会室でインタビュ



便利と向き合う

ここ数年、急速に普及した「スマートフォン」。簡単にネット検索ができたり、趣味の合う友達とSNSなどで繋がるのができたりと、「スマホ」には電話に加え、さまざまなアプリが開発、実装され続けることで、非常に便利な物へと日々進化しています。

まいそうになりまし。音楽を聴きながらバスを降りようとしていて、カードがうまく反応しないのです。運転手さんに注意され、やっとなんか乗客の方たちにも迷惑をかけた。また、最近下校の時に落ちて真っ暗だというのが、街灯の他にも光がぼんやりと光っている

のをよく見かけます。皆さんは画面に集中して、周りに注意がいかに不足かつたり、赤信号を渡りそうになったりしたことはありませんか。便利な点が増えた分、それを持つていける自分身を制御しなければならぬ点も増えています。困ったことに便利なものほど、その便利さを使いこなしているつもりで、実はコントロールできていないことがよくあります。さらに、人間誰しも便利なものは失いたくない

やっていきます。野中翔豪君(1)「一つ一つの事をきっちり、あたりの事をあたりにまねにします。新年を迎え生徒会はこの世代へとバトンを繋ぎました。これから個人個人が長工としてマナーをしっかりと守り、出来ることをしっかりとやり、みんなで生徒会活動を盛り上げていきたいですね。」

OBの活躍

技能五輪の自動車職種部門で二位に!

一昨年ものづくり日本大賞も受賞した本校機械科卒業の五島聖太さん。今年度の技能五輪自動車職種部門で二位になりました。その報告に長工を訪れていました。五島さんにお話を伺いました。



▶見事、二位入賞

い、自分の傍におきたいものです。気付いたら肌身離さず。ついには離れられなくなりました。物の利便性を活用せず、に生活していくことは不可能になってきている。現代の私たちが生きていくには、道具に支配されるという悲しい事態に陥るわけにはいきません。そのためには、「もの」の使い方を十分理解し、制御の効く範囲で使っていく「自分」をしっかりと持つことが必要だと考えます。(松尾)

▲今後の夢を語る五島さん

高校生の時から技能五輪の世界大会に出たいと思っていた五島さん。ところが技能五輪の世界大会は国内大会で一位になってからしか出場することができま。今回五島さんは二位。惜しくも出場し、たくさんの賞を受賞しています。先輩方の活躍に注目しつつ、私たちが先輩方に負けないよう技術を磨いていきたいです。

Q これからの課題は、
Q 団体で二位に入賞したことが嬉しかった。
Q これからの課題は、
Q 次は高総体しかなないのでそこでは長工でボクシングをして全員が個人優勝できるように頑張ります。
Q 今回の目標は、
Q インターハイでの上位入賞です。

スポーツ
トピックス
まはら 九州大会から
嬉しい初優勝!
フェンシング部

次こそは...
ボクシング

県大会で
四強に勝つために
ラグビー部

燃え上がる炎

火にあたり
心の
東はらう

今日の一
枚
く伝統行事

青春日記

原始的かつ自堕落な毎日...
追われながらこれまでの三年間を振り返って...
私と私の高校生活は青春日記と共にあったのだと改めて感じます。最初は交代制という事で引き受けたはずだったこの欄になぜか書き続けた。いつの間にかクライマックスが迫ってきています。そういえばどんな時間帯でもなにをしながらでも、青春日記のことを考えない時間はない気がする。あ、最後のテストの結果が不安でした。地震がくるのは寒さのせいとも...
山田の青春日記、次号、完結(予定) (山田)

ココロおどる、弾む
吹奏楽部定期演奏会

一月十二日（月・祝）にテトセピアホールで本校吹奏楽部の十一回定期演奏会が開催され、多くの観客を前に楽しい演奏が披露されました。

当日の会場は、ほぼ満席。OBの方はもちろん保護者方、先生方、そして野球部、一般のお客さんまで多くの方々が訪れました。

演奏は、二部構成で行われ、一部は本格的な演奏、二部はNKパレードなど観客全員が一緒に盛り上がることのできるような演奏となりました。

内容は、演奏から寸劇まで盛りだくさんで、特に役になりきった寸劇ではアンパンマンを基にしたコメディな場面を盛り上げてくれました。吹奏楽部の演奏は思っただけで、達成感があることので、お客さんの良い反応を見ることができたので、みなさんの役を受けてとてもよかったです。



▼衣装を替えてイメージチェンジ



生息互ふ!!!
～自販機とバトってみた☆～



一格闘すること32回。

色々な人に
インタビュー

●新部長・坂角瑞希さん
「今年度も色々と大変だったので、無事終わることにできて、達成感がある。寸劇ではお客さんの良い反応を見ることができたので、みなさんの役を受けてとてもよかったです。」

●初めの観客の方
「初めて見に来たけど、とても良かった。生徒達の息づかいが伝わってきた。とても良かった。特に寸劇の時間も面白かった。おもしろかった。OBの評価は？」

●OBの評価は？
「年末に来て聞いて演奏がまたよかったです。2部の定期演奏会も是非見に来たいです。」

●長工の野球部員は？
「NKパレードがとても面白くて、見ている方も楽しかったです。見に来た。今回、吹奏楽部の定期演奏会を始めて見に行きました。演奏は想像以上の本格的なもので、聞き入っていました。初めはしっかり構えていたカメラの存在も、新聞部では一人の観客としてその雰囲気を引きこまされていました。ぜひ皆さんも一度行ってみて下さい。」



▲神秘的なアンサンブル

ドイツ研修
多くのことを学んだ!

今年度も三年生がドイツ研修へ行って来ました。今回ドイツに行ってきた生徒は、A3橋本杏奈、P3山崎雄太、I3久保名実、C3楠本笑子の計6名です。6名にインタビューを行いました。少し遅くなりましたが、報告したいと思います。

Qドイツに行くの印象は？
「日本と違い、電線が地中を通っているから街の景色が違った。」



▲迫力のケルン大聖堂

母校での思い出を
大切な記念に

卒業生が結婚式前撮影

おめでとう！一月五日冬休期間中の十九日、本校H健人さん（J科卒）と磯まどかさん（C科卒）のお二人の結婚式の写真の前撮りや撮りまわしを行いました。三月に結婚式を控えた二人、人生の大切な記念の写真を撮りたいと考える九月頃に学校へお願いの電話がされたこと。

今流行りの「壁ドン」など様々なシチュエーションで撮影。実は、カメラマンの松浦琢磨さん（S五十六年（A科）だ）のこと。笑顔溢れる楽しい撮影会となりました。



▲高校生に大変身

二人の↓裏門からこそ二人で帰ったり、学校では話さないようにして学校で好きだった場所

Q靴箱
「後輩に一言「勉強も大事だけど皆で協力して何かを成し遂げよう」という原動力が私にはあります。毎日毎日、溜息が出て幸が逃げている。幸と逃げている。もうすぐ受験シーズン、一年前の私は推薦入試を諦めて、一般入試を受ける。必死の覚悟で頑張る。謎の余裕に包まれる。母に叱られた。母に叱られた。母に叱られた。

千理の道も...②
ロボコン道

シリーズ
ロボット道

子機製作班は、一度作ってみたい所、一度作らないうちが、今年一番苦労したのが、親機子機ともに、ロボットのパーツを自作することです。ロボットの作り手は、木材で作って、強度を確保する必要があります。

Qもう一度行ってみたいと思いませんか？
「全員「行ってみたい！」という思い、最低、半年間は滞在したいかな。と、みなさん楽しんでくれています。答えは「行ってみたい！」です。是非、機会があれば一度行ってみたいと思います。」



▲プラダンで作った子機

二人の〜裏門からこそ二人で帰ったり、学校では話さないようにして学校で好きだった場所

Q靴箱
「後輩に一言「勉強も大事だけど皆で協力して何かを成し遂げよう」という原動力が私にはあります。毎日毎日、溜息が出て幸が逃げている。もうすぐ受験シーズン、一年前の私は推薦入試を諦めて、一般入試を受ける。必死の覚悟で頑張る。謎の余裕に包まれる。母に叱られた。母に叱られた。母に叱られた。」



▲このメンバーでもう一度...

一年生な日々

二月と言えはバレンタイン。バレンタインといえば「愛」。それに縁もなければゆかりもない。その単語を聞く度に溜息が出て幸が逃げている。もうすぐ受験シーズン、一年前の私は推薦入試を諦めて、一般入試を受ける。必死の覚悟で頑張る。謎の余裕に包まれる。母に叱られた。母に叱られた。母に叱られた。

二人とも現在二十四歳。卒業しても母校の愛があることは素敵ですね。私たちも母校の愛をたくさん思い出していきましょう。

海外の浄水器には期待をしないこと（J3下平）

編集後記

二月に入り、ついに三年生は、活字部活に顔をきり出す。ささやかなる、大きな一歩。この号を仕上げた。この号を仕上げた。この号を仕上げた。